**推　薦　書**

下記のとおり、生理学研究所システム脳科学研究領域神経ダイナミクス研究部門特任助教の候補者を推薦します。

記

１　被推薦者氏名及び現職

被推薦者氏名

被推薦者現職

２　推薦理由（記入欄が足りない場合は、適宜、用紙を添付してください。）

　　年　　月　　日

推薦者職・氏名　　　　　　　　　　　　　　　印

**生理学研究所システム脳科学研究領域神経ダイナミクス研究部門　特任助教候補者　略歴書**

　　　年　　月　　日　現在

顔写真を貼付

|  |  |
| --- | --- |
| ふりがな氏　　　　名（旧 氏 名） |  |
| 生年月日 | 　　　　　　年　　月　　日（　　歳） |
| 学位 | 種　　類 |  　（　　　　年　　月） |
| 授与機関 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 修学期間 | 学　　　歴　　　事　　　項 |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 在職期間 | 職　　　歴　　　事　　　項 |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 従事期間 | 職歴以外の研究又は教育歴事項 |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 従事期間 | 学会等での活動（役職など） |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 現在の所属先 |  |
| 所属先の住所 | 〒 |
| 所属の連絡先番号 | 電話番号 |  |
| Ｆ Ａ Ｘ |  |
| e – mail |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 自宅の現住所 | 〒 |
| 自宅の連絡先番号 | 電話番号 |  |
| Ｆ Ａ Ｘ |  |
| e - mail |  |

|  |
| --- |
| その他の事項（賞罰、免許など。） |

記入欄が足りない場合は、適宜、行を挿入し、また、用紙を追加してください。**別　紙 １**

**〔業績目録の様式〕**

１　Ａ４版用紙を用い、Ａ）原著論文、Ｂ）総説及び著書の順で記載してください。

２　個々の論文、著書については、記入例を参考に、掲載または出版を許可されたもののみを発表順に番号を付けて記載してください。著者は全員記載してください。

〔記 入 例〕

Ａ）原著論文

　１．Neher E & Sakmann B. Single-channel currents recorded from membrane of denervated frog muscle fibers. Nature 260: 779-802 (1976) doi: 10.1038/260799a0.

Ｂ）総説及び著書

　１．日本太郎. 聴覚の生理的基礎　勝木編　感覚の生理学 P.51-70 岡崎書院（1990）

記入欄が足りない場合は、適宜、用紙を追加してください。

**別　紙 ２**

**〔その他参考資料の様式〕**

○　Ａ４版用紙を用い、①国際学会及び国際シンポジウムへの招待講演、②国際共同研究の実績、③競争的資金からの研究費の獲得状況(最近の５～１０年)、④特許出願・取得状況、⑤その他の順で記載してください。

〔記 入 例〕

１．国際学会及び国際シンポジウムへの招待講演

① 生理太郎　(2000, 3) Cortical dynamics and neural mechanisms of object recognition.

 The 26th SEIRIKEN International Symposium, Neural Mechanisms of Visual Perception and Cognition, Okazaki, Japan (invited speaker)

２．国際共同研究の実績

① Human Frontier Science Grant, Research Grant RG-77/95.

研究テーマ：Visual pattern recognition by primate neuronal networks.

共同研究者：生理太郎, Darwin C, Yang J (代表者がある場合は下線を引いて下さい）

研究期間：1995, 6 – 1998, 5

３．競争的資金からの研究費の獲得状況

① 戦略的基礎研究推進事業（科学技術振興事業団）

研究テーマ：体性感覚における視床－大脳皮質機能連関　(研究代表者)

期間：1996, 4 - 2000, 3

研究費総額：230,000,000円

４．特許出願・取得リスト

① 生理太郎, 薬理次郎. 名称「腎疾患治療剤のスクリーニング法」

出願番号　2003-999999x

国際出願番号　PCT/JP02/99999x（国際公開番号 WO-2003/9999999x）

出願人　大和大学

出願日　2001年1月1日

５．その他

記入欄が足りない場合は、適宜、用紙を追加してください。